

2024年10月30日 「研究業績」を更新

臨床スポーツ医学（文光堂）11月号に、総説論文「各種療法による腱血液循環の変化―腱障害を未然に防ぐメンテナンス法の検討―」が掲載されました。

2024年10月8日 「研究業績」を更新

美濃さん（修士2年）の2本目の論文が、J Sports Med Phys Fitnessに受理されました（筆頭著者：美濃颯志）。等尺性および伸張性収縮の繰り返しが、アクティブ筋スティッフネスに及ぼす影響を比較した研究です。

2024年9月13日 「研究業績」「アルバム」を更新

日本スポーツ整形外科学会2024で教育研修講演を担当しました。

2024年9月4日 「研究業績」「アルバム」を更新

第78回日本体力医学会大会で教育講演を担当しました。

2024年5月30日 「アルバム」を更新

美濃さん（修士2年）が修論中間発表を行いました。残りのもう1つの実験に取り掛かります。

2024年5月22日 「研究業績」を更新

笹島さん（博士2年）の3本目の論文が、J Biomechに受理されました（筆頭著者：笹島修平・博士2年）。ヒト腱特性の測定前preconditioningは、力学的特性の測定値に影響しないが、腱コラーゲン線維配列を変化させることを示しました。

2024年4月8日 「メンバー」「アルバム」を更新

修士課程に芳沢暢浩さん（明治大学農学部卒）が入学しました。

2024年4月4日 「研究業績」を更新

先月修士課程を修了した安田さんの3本目の論文が、Transl Sports Medに受理されました（筆頭著者：安田彩夏）。静的ストレッチングでは、アキレス腱の血液循環の変化が認められないことを示しました。

2024年3月21日 「アルバム」を更新

修士2年の小坂さんと安田さんが、修士号を授与されました。

2024年2月9日 「アルバム」を更新

修論慰労会および送別会（少し早いけれど）を行いました。

2024年1月26日 「アルバム」を更新

修士2年の小坂威博さんと安田彩夏さんが、修士論文の発表を行いました。

2023年12月15日 「研究業績」を更新

笹島さん（博士1年）の2本目の論文が、J Strength Cond Resに受理されました（筆頭著者：笹島修平・博士1年）。

静的ストレッチング（1分x4セット）により腱ヒストリシス低下が60分間継続するが、10分間のホッピング運動中の効率に影響を及ぼさないことを示しました。

2023年11月27日 「研究業績」「アルバム」を更新

第31回身体運動科学シンポジウムがオンラインで開催され、久保がオーガナイザーを務めました。約200名の方々にご参加頂きました。

2023年10月24日 「研究業績」を更新

思春期直前における身体的特徴、筋腱特性、および骨年齢の縦断的变化に関する研究がJ Musculoskelet Neuronal Interactに受理されました。角田直也先生（国土舘大学）、広瀬統一先生（早稲田大学）、手島貴範先生（日本工学院八王子専門学校）との共同研究です。

2023年10月5日 「研究業績」を更新

小坂さん（修士2年）の2本目の論文が、J Sports Sciに受理されました（筆頭著者：小坂威博・修士2年）。

異なる条件による伸張-短縮サイクル運動パフォーマンスにおける腱弾性エネルギー量と筋電図パターンとの関連を示した研究です。特に、これまで多くの先行研究で採用されてきた腱スティッフネスではなく、腱弾性エネルギー量の重要性を示した点に新規性があると考えています。

2023年7月12日 「研究業績」を更新

美濃さん（修士1年）の卒業研究データをまとめた論文が、Sports Biomechanicsに受理されました（筆頭著者：美濃颯志・修士1年）。関節スティッフネス（いわゆるバネ）持久性の規定因子に関する研究です。

2023年7月4日 「研究業績」を更新

ツボおよび腱に対する鍼刺激と指圧刺激による腱血液循環変化を比較した論文が、Eur J Appl Physiolに受理されました。東京有明医療大学・高倉伸有先生の研究室との共同研究です。

2023年6月2日 「アルバム」を更新

修士2年の小坂さんと安田さんが、修士論文の中間発表を行いました。

2023年5月9日 「研究業績」を更新

安田さん（修士2年）の2本目の論文が、J Phys Fitness Sports Medに受理されました（筆頭著者：安田彩夏・修士2年）。指圧刺激による腱血液循環変化における指圧条件（押力&周波数）および皮下組織特性の影響を検討した研究です。

2023年4月10日 「メンバー」「アルバム」を更新

修士課程に美濃颯志さん（卒研から継続）が入学し、博士課程に笹島修平さんが進学しました（2022年度とメンバーは変わらず）。

笹島さん（博士1年）がSPRING GXに採択され、3年間にわたり研究奨励費（生活費相当額）および研究費を支給されることが決まりました。

2023年4月5日 「研究業績」を更新

小坂さん（修士2年）の第1弾実験の論文が、Physiological Reportsに受理されました（筆頭著者：小坂威博・修士2年）。

関節スティッフネス（いわゆるバネ）が、アクティブ筋スティッフネスおよび筋活動パターンと強く関連することを示した研究です。

2023年3月24日 「アルバム」を更新

学部4年の美濃颯志さんが、学士号を授与されました。

2023年3月23日 「アルバム」を更新

修士2年の笹島修平さんが、修士号を授与されました。

2023年2月1日 「アルバム」を更新

統合自然科学科4年生の美濃颯志さんが、卒業研究発表を行いました。

2023年1月27日 「アルバム」を更新

修士2年の笹島修平さんが、修士論文の発表を行いました。

2022年12月3日 「アルバム」を更新

美濃さん（B4）の卒業研究の実験が全て終了し、これから分析を進めていきます。

小坂さん（M1）が、来年4月からのトレーニング実験に向けて、予備実験および測定機器の調整を行っています。

2022年11月26日 「研究業績」を更新

ヒト生体における最大筋束短縮速度の定量法に関する論文が、Physiological Reportsに受理されました。Hauraix et al (2015) J Appl Physiolの方法を改良したもので、今後はこの手法を用いた応用研究を展開していきます。

2022年11月14日 「研究業績」を更新

腱特性の測定時における弛緩時間が腱ヒステリシスに及ぼす影響を検討した論文が、J Musculoskelet Neuronal Interactに受理されました（筆頭著者：笹島修平・修士2年）。

この論文は、2019年度に修士課程を卒業した菅原一樹さんの修士論文の中で偶然見出された（目的とは関係の無い）データについて、あらためて実験プロトコルを再検討してやり直したものです。

2022年9月23日 「研究業績」を更新

第77回日本体力医学会（栃木）で、久保、笹島（M2）が一般発表を行いました。

2022年6月16日 「アルバム」を更新

統合自然科学科主催の駒場サイエンス倶楽部で、セミナーを担当

しました。

2022年6月6日 「研究業績」を更新

第71回全日本鍼灸学会学術大会東京大会のシンポジウムで講演を担当させて頂きました。

2022年6月2日 「アルバム」を更新

修士2年笹島修平さんが、修士論文の中間発表（対面）を行いました。

2022年6月1日 「研究業績」を更新

修士1年安田彩夏さんの卒業研究データをまとめた論文が、Clinical Biomechanicsに受理されました（筆頭著者：安田彩夏）。膝蓋腱とアキレス腱に対する指圧刺激により、腱血液循環が同程度に変化することを示しました。2年前（2020年）に発表した両腱に対する鍼刺激とは異なる結果となりました。

2022年5月7日 「研究業績」を更新

ヒラメ筋における筋束動態（伸張速度など）が伸張反射に影響を及ぼさないことを示した論文が、J Musculoskelet Neuronal Interactに受理されました。

2022年4月11日 「アルバム」を更新

修士課程に安田彩夏さん（卒研から継続）および小坂威博さん（学習院大学理学部卒）が入学し、卒研生として統合自然科学科4年生の美濃颯志さんが加わりました。

2022年3月25日 「アルバム」を更新

4年生の安田彩夏さんが、学士号を授与されました。

2022年3月5日 「研究業績」を更新

ヒラメ筋における伸張反射がPassiveおよびActive筋スティッフネスに及ぼす影響を検討した論文が、Eur J Appl Physiolに受理されました。

2022年2月3日 「アルバム」を更新

統合自然科学科4年生の安田彩夏さんが、卒業研究発表（Zoom）を行いました。

2022年1月19日 「研究業績」を更新

中年者群と若年者群の筋腱特性と跳躍能を比較した論文が、Scientific Reportsに受理されました。

2021年12月20日 「アルバム」を更新

2021年最後の研究室ミーティング後に、ランチ忘年会（コロナ禍のため）を駒場キャンパス内のルヴェソンヴェールで行いました。

2021年9月18日 「研究業績」を更新

3ヶ月間のプライオメトリックトレーニングが筋腱の力学特性、ジャンプ中の筋腱動態に及ぼす影響を検討した論文が、Physiological Reportsに受理されました。

2021年5月6日 「研究内容」を更新

学内（広域科学専攻内）で毎年発行している業績集Frontier2020のTopicsで研究内容が掲載されました。

2021年4月12日 「アルバム」を更新

修士課程に笹島修平さんが入学し、卒研生として統合自然科学科4年生の安田彩夏さんが加わりました。

2021年4月1日 「自己紹介」を更新

久保が教授に昇任しました。

2021年3月22日 「アルバム」を更新

トレーニング体育館が解体されました。

2021年1月16日 「アルバム」を更新

トレーニング体育館内の備品が全て撤去されました。とうとう解体の日が近づいているようです。

2020年10月10日 「研究業績」を更新

所属する身体運動科学研究室メンバーが執筆した

「身体運動科学アドバンスト」（杏林書院）が出版されました（第2章を分担）。

2020年9月9日 「アルバム」を更新

新体育館の竣工式が行われ、来賓として福永哲夫先生が来学されました。

2020年8月29日 「研究業績」を更新

短距離選手における高い伸張速度条件でのアクティブ筋スティッフネスおよび腱特性を検討した論文が、Physiol Repにアクセプトされました。

2020年8月24日 「研究業績」を更新

伸張速度（100～600deg/s）がアクティブ筋スティッフネスに及ぼす影響を検討した論文が、J Biomechにアクセプトされました。

2020年7月4日 「研究業績」を更新

膝蓋腱およびアキレス腱への鍼刺激による腱血液循環の変化を比較した論文がTrans Sports Medにアクセプトされました。
東京有明医療大学・高倉伸有先生の研究室との共同研究です。

2020年5月6日 「アルバム」を更新

実験室の引越しを行いました。

2020年4月1日

科学研究費補助金（基盤研究B）の内定を頂きました。

2020年2月7日 「研究業績」を更新

反復回数およびセット数の異なるベンチプレストレーニングが筋体積および1RMに及ぼす影響を検討した論文がJ Strength Cond Resにアクセプトされました。

2019年12月27日 「研究業績」を更新

鍼刺激による腱血液循環および心拍変動の変化を検討した論文が、
Medical Acupunctureにアクセプトされました。東京有明医療大学・
高倉伸有先生の研究室との共同研究です。

2019年12月6日 「研究業績」を更新

鍼刺激および指圧刺激が腱の血液循環に及ぼす影響を検討した論文が、
J Alter Comp Medにアクセプトされました。東京有明医療大学・
高倉伸有先生の研究室との共同研究です。

2019年11月14日 「アルバム」を更新

卒研究生の内山さんが、約2ヶ月間の予備実験を経て本実験を遂行中です。

2019年10月14日 「研究業績」を更新

高齢者における腱の力学的特性およびコラーゲン線維配向を検討した
論文（筆頭著者 石垣智恒）が、Clin Biomechにアクセプトされました。

2019年9月21日 「研究業績」を更新

第74回日本体力医学会大会（茨城）で、久保、池袋、石垣、飯塚が
一般発表を行いました

2019年8月27日 「研究業績」を更新

ホッピング運動の繰り返しが関節スティッフネス、筋スティッフネス、
腱スティッフネスに及ぼす影響を検討した論文が、Physiol Repに
アクセプトされました。

2019年8月21日 「研究業績」を更新

静的ストレッチングがアクティブ筋スティッフネスに及ぼす影響を検討
した論文（筆頭著者 鈴木隆之）が、J Phys Fitness Sports Med
にアクセプトされました。鈴木さん（修士2年）の2本目の論文です。

2019年6月19日 「研究業績」を更新

しゃがむ深さの異なるスクワットトレーニングが下肢筋量に及ぼす影響
を検討した論文が、Eur J Appl Physiolにアクセプトされました。

2019年5月2日 「研究業績」を更新

2年前に修士課程を修了した河野真大さんが筆頭著者の論文が、
Sports Biomechanicsにアクセプトされました。

2019年4月8日 「メンバー」「アルバム」を更新

卒研究生として統合自然科学科4年生の内山智嗣さんが加わり、
今年度初めての研究室ミーティングを行いました。

2019年2月23日 「アルバム」を更新

広島大学 浦辺幸夫先生の研究室の前田慶明先生および酒井章吾さん
にご講演を頂きました。

2018年12月27日 「アルバム」を更新

研究室忘年会を開催しました。

2018年12月16日 「アルバム」「研究業績」を更新

東京有明医療大学の先生方との共同研究の第1弾が終了しました。
第23回日本基礎理学療法学会学術大会で、教育講演「腱の運動学」を担当しました。

2018年12月4日 「研究業績」を更新

伸張性および等尺性収縮の繰り返しが関節スティッフネスに及ぼす影響を検討した論文が、J Sports Med Phys Fitnessにアクセプトされました（筆頭著者：修士1年鈴木隆之）。

去年の今頃、鈴木さんの卒論研究で行なった実験です。

2018年10月15日

石垣智恒さん（2018年3月修了）が、学振特別研究員PDに内定しました。

2018年10月12日 「研究業績」を更新

静的ストレッチングが腱の力学的特性およびコラーゲン線維配向に及ぼす影響を検討した論文が、Clin Biomechにアクセプトされました。

2018年9月10日 「研究業績」「アルバム」を更新

第73回日本体力医学会大会（福井）で、久保、石垣、池袋が一般発表を行いました

2018年9月5日 「研究業績」を更新

3ヶ月間の伸張性トレーニングにおける実施頻度が腱の血液循環、コラーゲン線維配向、力学特性に及ぼす影響を検討した論文が、Eur J Appl Physiolにアクセプトされました（筆頭著者：石垣智恒）。

2018年5月3日 「アルバム」を更新

Pre測定が終了し、3ヶ月間のトレーニングが開始されました。
研究室歓迎会を開催しました。

2018年4月9日 「アルバム」を更新

修士課程に飯塚洋二郎さん、菅原一樹さん、鈴木隆之さん、
研究生として張鐘元さんがそれぞれ入学しました。
今年度初めての研究室ミーティングを行いました。
「メンバー」ページを追加しました。

2018年3月22日 「アルバム」を更新

石垣智恒さんが博士号（学術）を授与されました。
研究室として、1人目の博士誕生です。

2018年3月15日 「自己紹介」を更新

出身高校である浦和高校柔道部の平成30年度会報に、特集記事を掲載して頂きました。

2018年3月13日 「研究業績」を更新

伸張反射の影響を含めた収縮条件下における筋スティッフネス（Active筋スティッフネス）の測定法に関する論文が（2014年にJAPで発表した方法は、

伸張反射の影響を含まない筋スティッフネス)、J Biomechにアクセプトされました。

2018年1月16日 「アルバム」を更新

石垣智恒さんの博士論文本審査会が行われました。

2017年12月26日 「アルバム」を更新

研究室の忘年会を行いました。

2017年11月27日 「研究業績」を更新

今年の日本体力医学会で石垣さんが発表した「伸張性収縮の繰り返しが腱の血液循環およびコラーゲン線維配向に及ぼす影響」に関する論文

(筆頭著者: 石垣智恒) が、J Phys Fitness Sports Medにアクセプトされました。

2017年10月5日 「アルバム」を更新

来年4月から入学予定の鈴木隆之さん(東京大学理学部在籍)の卒論実験が始まりました。

2017年9月18日 「研究業績」「アルバム」を更新

第72回日本体力医学会大会(松山大学)で、久保および石垣さん(D3)が一般発表を行いました。

2017年8月7日 「アルバム」を更新

2つのトレーニング実験が、無事に終了しました。

2017年7月7日 「研究業績」を更新

「12週間のプライオメトリックおよびアイソメトリックトレーニングが、Active筋スティッフネスと腱特性に及ぼす影響」に関する論文が、Physiological Reportsにアクセプトされました。

2017年6月2日 「研究業績」「研究内容」を更新

光ファイバー式レーザー血流計を用いた『ヒト腱の血流量の測定法』に関する論文が、J Phys Fitness Sports Medにアクセプトされました。併せて、上記論文を「研究内容」に追記しました。

2017年5月8日 「アルバム」を更新

2つのトレーニング実験(東京大学&和光大学)がスタートしました。

2017年4月27日 「研究業績」を更新

9年前(2008年)の日本バイオメカニクス学会(仙台大)で池袋さんが発表した

「大腿四頭筋の筋体積推定のための最適な筋厚測定位置の検証」について、昨年夏にデータを追加して再検証した論文(筆頭著者: 池袋敏博)がAdv Exer Sport Physiolにアクセプトされました。

2017年4月14日 「研究業績」を更新

昨年(2016年)の日本体育学会(大阪)で発表した「Active筋スティッフネスと

筋線維組成との関係」に関する論文が、J Sports Med Phys Fitnessに
アクセプトされました。

2017年4月2日

科学研究費補助金（基盤研究B）の内定を頂きました。

「研究業績」「English」にGoogle Scholarのリンクを追加しました。

「自己紹介」を更新。2017年度からIJSHS（日本体育学会の国際誌）の編集委員

を担当することになりました。

2017年3月24日

「ニュース」および「アルバム」を更新

2017年3月7日

「アルバム」ページを追加しました。

2017年3月1日 研究内容を更新

最近の研究内容を踏まえて、加筆・修正しました。

2017年2月4日 研究内容、学術論文を更新

東京大学スポーツ先端科学研究拠点HP掲載の研究紹介をリンクしました。

学術論文（第1著者の論文）と学術論文（共著論文）を統合しました。

2016年12月2日 学術論文（共著論文）を更新

今年の日本体力医学会（岩手）で池袋さん（学外共同研究者）が発表した「下肢筋群の筋体積と体重との関係」に関する論文（第1著者：池袋敏博）が、
Gazzetta Medica Italianaにアクセプトされました。

2016年11月4日 学術論文（共著論文）を更新

今年の日本体力医学会（岩手）で石垣（D2）が発表した「腱の超音波輝度変動係数による腱コラーゲン線維配向の定量化」に関する論文（第1著者：石垣智恒）が、J Biomechにアクセプトされました。研究室として初めての大学院生が第1著者の論文です！！

2016年10月27日 学術論文（第1著者の論文）を更新

今年の日本体力医学会（岩手）で発表した「短縮性および伸張性トレーニングが腱の力学的特性および血液循環に及ぼす影響」に関する論文がSports Med Int Openにアクセプトされました。

2016年10月10日 研究業績（招待講演）を更新

第43回日本臨床バイオメカニクス学会（2016年10月8～9日 北海道）のシンポジウム「先端的計測手法によるバイオメカニクス研究の新たな可能性」で招待講演（ヒト生体における筋および腱の力学的特性の機能的役割と可塑性）を行いました。

2016年9月26日 研究業績（学会発表）を更新

第71回日本体力医学会で、久保、石垣（D2）、河野（M2）、池袋（明治大嘱託職員）が一般発表を行いました。

2016年8月26日 研究業績（著書、学会発表）を更新

腱血流に関する章を分担執筆した書籍（Metabolic Influence on Risk for Tendon Disorders）がSpringer International Publishingから出版されました。

第67回日本体育学会で一般発表を行いました。

「筋および腱の力学的特性と筋線維組成との関係」

2016年5月7日 研究業績（総説・解説）を更新

体育の科学5月号に、連載記事（第6回目）が掲載されました。

「腱の血液循環」 ＊これが最終回です。

2016年5月4日 学術論文（第1著者の論文）を更新

「短距離選手におけるActive筋ステイフネス」

に関する論文がJ Sports Sciにアクセプトされました。

2016年4月11日 研究業績（総説・解説）を更新

体育の科学4月号に、連載記事（第5回目）が掲載されました。

「腱の伸展性を高める方法」

2016年3月16日 研究業績（総説・解説）を更新

体育の科学3月号に、連載記事（第4回目）が掲載されました。

「アイソメトリックスが腱に及ぼす影響」

2016年2月6日 研究業績（総説・解説）を更新

体育の科学2月号に、連載記事（第3回目）が掲載されました。

「腱の力学的特性と筋機能およびパフォーマンスとの関係」

2016年1月27日 学術論文（第1著者の論文）を更新

「長距離選手における着地時の関節角度と腱特性との関係」

に関する論文がSpringerPlusにアクセプトされました。

2016年1月15日 研究業績（総説・解説）を更新

体育の科学1月号に、連載記事（第2回目）が掲載されました。

「腱の成長・加齢変化」

2015年12月8日 研究業績（総説・解説）を更新

体育の科学12月号に、連載記事（第1回目）が掲載されました。

「腱の力学的特性の測定」

2015年9月21日 学会発表を更新

第70回日本体力医学会で一般発表を行いました。

「陸上長距離選手の足底屈筋群における筋および腱の力学的特性」

第66回日本体育学会で一般発表を行いました。

「陸上長距離競技成績に及ぼす下肢筋群の腱組織の力学的特性の影響」

2015年7月27日 研究業績（著書）を更新

長谷川博先生（広島大学）にお声かけ頂き、

「Endurance Training」の3章分の翻訳を担当させて頂きました。

2015年7月18日 学術論文（第1著者の論文）を更新
学術論文（第1著者の論文）の掲載ページを追記しました。

2015年4月8日 学術論文（第1著者の論文）を更新
「長距離選手におけるPassiveおよびActive筋ステイフネス」
に関する論文がJ Biomechにアクセプトされました。

2015年4月1日 新メンバーの加入
博士課程に石垣智恒さん、修士課程に河野真大さんが入学しました。
後日、メンバーページを作成します。

2015年3月16日 学術論文（第1著者の論文）を更新
「長距離選手の走パフォーマンスと腱特性との関係」
に関する論文がEur J Appl Physiolにアクセプトされました。

2014年11月15日 学術論文（第1著者の論文）を更新
「異なる筋収縮の繰り返しが腱の血液循環に及ぼす影響」
に関する論文がInt J Sports Medにアクセプトされました。

2014年9月24日 研究業績（著書）を更新
宮村実晴先生が編集された「運動生理学のニューエビデンス」
が刊行されました。2010年に引き続き、分担執筆させて頂きました。

2014年9月1日 学術論文（第1著者の論文）を更新
「長距離選手における足接地パターンとアキレス腱特性との関係」
に関する論文がJ Sports Sciにアクセプトされました。

2014年8月27日 学術論文（第1著者の論文）を更新
「Active筋ステイフネスの定量法」
に関する論文がJ Appl Physiolにアクセプトされました。

2014年7月20日 招待講演を更新
第22回日本運動生理学会（川崎医療福祉大学）のキーノートレクチャーで
招待講演（腱の機能的役割と可塑性）を行いました。

2014年4月1日 学術論文（第1著者の論文）を更新
昨年日本体力医学会（東京）で発表した「腱特性と筋形状の成長変化
における部位差」に関する論文がClin Biomechにアクセプトされました。

2014年4月1日 科学研究費補助金（基盤B）の内定を頂きました。
研究活動を継続出来ることを嬉しく思います。
関係された先生方に御礼申し上げます。

2014年1月13日 学術論文（第1著者の論文）を更新
「発育に伴う膝蓋腱の形状と力学的特性の変化」
に関する論文がJ Appl Biomechにアクセプトされました。

2013年12月16日 学術論文（第1著者の論文）を更新
今年の運動生理学会（埼玉）で発表した「筋腱の成長変化と骨年齢との関
係」

に関する論文がInt J Sports Medにアクセプトされました。

2013年11月25日 招待講演を更新
第22回日本柔道整復接骨医学会のシンポジウムで
招待講演（腱のトレーニング）を行いました。

2013年10月10日 受賞を更新
今年（2013年）7月に第21回日本運動生理学会で発表した演題が、
実は**学会大会賞**を受賞していました。
（本人は授賞式に出ていなくて、10/10までつゆ知らず・・・）

2013年9月24日 学会発表を更新
第68回日本体力医学会で一般発表を行いました。
「膝伸筋群および足底屈筋群における腱特性と筋形状の成長変化」

2013年9月10日 学術論文（第1著者の論文）を更新
浅部および深部における『筋』の血液循環の比較に関する論文が
J Sports Med Phys Fitnessにアクセプトされました。

2013年7月29日 学会発表を更新
第21回日本運動生理学会で一般発表を行いました。
「足底屈筋群における筋・腱特性の成長変化と骨年齢との関係」

2013年7月24日 学術論文（第1著者の論文）を更新
昨年の体力医学会（岐阜）で発表した「腱特性に及ぼす遺伝子多型の影響」
に関する論文がSpringerPlusにアクセプトされました。

2012年11月10日 学術論文（第1著者の論文）の掲載ページを追記

2012年9月18日 報告書その他、学会発表、自己紹介、研究内容を更新

2012年7月2日 学術論文（第1著者の論文）、招待講演を更新

2012年5月12日 学術論文（第1著者の論文）を更新

2012年1月4日 ホームページを大幅にリニューアル（とりあえず・・・）